

道徳科学習指導案

指導者 T1：大道 寿江

T2：行廣 弥生

1 学 年 第5学年1組 12名

2 日 時 令和4年11月24日（木）第5校時

3 主題名 「こんなに負けない心」（A 希望と勇気，努力と強い意志）

4 本時のねらい 周りの人から「きびしすぎる」と言われてもヘレンを指導し続けるアニーの気持ちを考えることを通して，夢や目標の達成を目指して困難があってもくじけずに努力しようとする心情を養う。

5 教材名 「ヘレンと共に－アニー・サリバン－」（日本文教出版）

6 主題設定の理由

（1）主題観

人は、より高い目標があるからこそ頑張ろうという気持ちが高まる。目標の実現に向けて着実に努力し達成することが希望となり、自信や勇気となる。目標の実現には様々な困難を乗り越えなくてはならず、困難や失敗を経験することもある。そのためにも目標の実現に向けて努力することは必要である。しかし、努力することの大切さを知ってはいるが、「難しすぎてできない。」「面倒くさい。」「

「楽をしたい。」などの弱さももっている。また、順調にいかなかったり、困難に直面したときには、自信を無くしたり、自分を肯定できなくなったりする。困難や失敗に直面しても、自分を励まし、困難を乗り越えるためにくじけず努力しようとする強い意志と実行力をもつことで、さらに高い目標に挑戦しようと思意欲を高めることが人生の充実につながる。

（2）児童観

本学級の児童の多くは、自分なりの夢や目標をもっており、それに向かって努力しようとしている。また、がんばっている友達を見ると周りの児童は応援したり、できたことを一緒に喜んだりする風土がある。しかし、見通しがもてなくなったり、思うように結果がでなかったりすると挫折感や「やっても無理。」とあきらめてしまうような発言をすることがある。そんなときには、周りの友達の声掛けや成功体験を思い出し、もう一度挑戦しようとする場面もある。11月に入り、発表参観日に向けて自分たちで目標を立て、その目標に向かって努力を積み重ねている。

（3）教材観・指導観

本教材は、ヘレン・ケラーの家庭教師アニー・サリバンの話である。アニー・サリバンは自身の生い立ちから、目の不自由な人の役に立ちたいという決意をもつようになる。やがて、ヘレン・ケラーの家庭教師となり、ヘレンへ愛情をもって惜しみなく教育を続ける。また、周りの人に陰口を言われるなど、多くの困難に立ち向かい、信念をもって乗り越える姿からは、常にヘレンの成長を願う強い思いが伝わってくる。ヘレンの成長が自身の願いとなり、それに向かって最大限努力するアニーの生き方やアニーのヘレンに対する献身的な努力を支えた思いに迫ることで、夢や目標の達成を目指して困難があってもくじけずに努力しようとする心情を養うのに適した題材である。

指導に当たっては、まず、導入場面で「努力してもうまくいかなるときどのような気持ちになりますか。」と問う。児童の生活体験からうまくいかなかったときの気持ちを問うことで、本時のねらい

を方向付ける。

範読中に、アニー・サリバンについて板書で整理し、登場人物について捉えやすくする。範読後、「アニーがよく考えたすえにヘレンの家庭教師を引き受けたのはどんな思いからでしょう。」と問い、アニーが家庭教師を引き受けた決意を押さえる。ここでは、自らの経験から、「目の不自由な人のために働きたい。」という強い思いに共感させる。また、「不安はなかったのかな。」と補助発問をし、強い気持ちだけではなく、初めての仕事に対して不安を感じていることも捉えさせる。ここで、アニーが盲学校で出会った目と口と耳が不自由なローラとの指文字での会話やローラの「だれにだって不可能なことはない」という言葉に後押しされたことを補足する。

次に、「周りの人から『きびしすぎる。』と言われながらもヘレンを指導しているとき、アニーはどんな気持ちだったでしょう。」と問い、役割演技を行う。演技後、アニー役や役割演技を観察している児童に感想を言わせ、アニーの決意や苦しみに共感させる。アニーが行っていることが、非難という形で、理解されない悔しさや寂しさがあつたことを捉えさせる。そして、ヘレンに対する愛情があるからこそ、くじけなかったことも考えさせる。意見交流を通して、困難を前にくじけそうになる人間の弱さや困難を乗り越えようとする人間の強さを理解させ、夢や希望の実現のためには、強い意志が必要であることに気付かせる。

その次に、「ヘレンが『WATER』という言葉の意味を分かったとき、アニーはどんな思いでヘレンを抱きしめたのでしょうか。」と問う。その際、ペアで話し合い、考えが深まるようにする。ここでは、【自分自身の達成感】【ヘレンに対する思い】【これからの新たな目標】【仕事に対する思い】等を押さえる。多様な児童の考えをT2が分類・整理しながら板書を行う。

その後、教師の説話をを行い、価値を温める。

最後に、「今日の学習でどのようなことを学びましたか。」と問い、教材を通して考えたことをもとに自分自身をふり返って発表したり、自分の経験と照らし合わせながら友達の実験を聞いたりすることで、自分の生き方について考えさせたい。

7 カリキュラム・マネジメントの取組

- 朝読書や読書週間などを通じて、自分の夢や希望に向かって努力し続けた先人の伝記を読むことを推奨する。
- 発表参観日の本番に向け、6年生から教えてもらった「須波っ子太鼓」の演奏をよりよくするために粘り強く努力する。

8 本時の学習展開

(1) 準備物 場面絵・短冊

(2) 本時の学習展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点 (☆評価の観点)
導入	① 本時で学習するテーマを捉える。	努力してもうまくいかないときどのような気持ちになりますか。 ・嫌になる。 ・やめたくなる。 ・もっと努力する。	○本時の学習への方向性をもたせる。
		めあて 困難に負けない心とはどんな心だろう。	
展開	② 教材「ヘレンともに」を読んで考え、話し合う。	アニーがよく考えたすえにヘレンの家庭教師を引き受けたのはどんな思いからでしょう。 ・目の不自由な人の役に立ちたい。 ・ヘレンを助けたい。 ・今までお世話になった校長先生達に恩返しをしたい。 周りの人から「きびしすぎる。」と言われながらもヘレンを指導しているとき、アニーはどんな気持ちだったでしょう。 【プラスの感情】 ・これからもヘレンのためにがんばろう。 ・自分がやめてしまったらヘレンはこのままだ。 →ヘレンへの強い思い ・一度決めたことは最後までやりとげよう。	○T 1 が範読を行い、T 2 が登場人物について板書で整理する。 ○アニーが抱いた決意を押さえる。 ○「不安はなかったのかな。」と補助発問をし、強い気持ちだけではなく、初めての仕事に対して不安を感じていることも捉えさせる。 ○ローラの「だれにだって不可能なことはない。」という言葉に後押しされたことを補足する。 ○アニーと周囲の人になって役割演技を行う。演技後、アニー役や役割演技を観察している児童に感想を言わせアニーの決意や苦しみを共感させる。 ○アニーが行っていることが、非難という形で、理解されない悔しさや寂しさがあつたことを捉えさせる。 ○ヘレンに対する愛情があるからこそ、くじけなかったことも考えさせる。

		・自分でやると決めたことだから。 →自分の決心への強い思い ・自分もたくさん勉強することができた。だからヘレンにも。 【マイナスの感情】 ・このやり方でいいのだろうか。 ・もうやめてしまおうか。 ・投げ出してしまいたい。 ヘレンが『WATER』という言葉の意味が分かったとき、アニーはどんな思いでヘレンを抱きしめたのでしょうか。 【自分自身の達成感】 ・あきらめずに指導してきてよかった。 ・きびしすぎると言われても続けた。 【ヘレンに対する思い】 ・ヘレンが文字を理解してくれたことが嬉しかった。 ・ヘレンもがんばった。 ・物に名前があることを分かってくれた。 【これからの目標】 ・ヘレンと共にこれからも努力していこう。 ・これからももっと一緒に色んなことを学んでいきたい。 【仕事に対する思い】 ・やっと役に立てた。 ・自分のやりたいことができた。	○困難を前にくじけそうになる人間の弱さや困難を乗り越えようとする人間の強さを理解させる。 ☆たとえ困難なことであっても根気強く取り組むことの大切さが理解できたか。（役割演技，発言） ○アニーの努力が実を結んだ瞬間であることを感じ取らせる。 ○くじけずに努力することにより達成感や喜びを味わい，人の役に立つ自分に自信をもったアニーの気持ちに共感させる。 ○多様な児童の考えをT2が分類・整理しながら板書を行う。
--	--	---	---

	③ 教師の説話を聞く。	先生話を聞きましょう。	○教師の説話を聞き,自分事として捉えさせる。
終末	④ 今日の振り返りを行う。	今日の学習でどのようなことを学びましたか。 ・強い意志をもって前向きに努力する。 ・乗り越えたら達成感があると思っ てがんばる。 ・自分はやればできると思って乗り 越えたい。 ・あきらめないで続ける。 ・できるまであきらめないで続ける。 ・人に言われるのではなく自分で決 める。	☆教材を通して考えたことをもとに 自分の生き方について考えさせる。 強い意志をもって困難があっても 負けずに努力する大切さを記述し ているか。(道徳ノート) ○今までの経験を振り返ると同時に, これからの目標に向かう気持ちや 姿勢について大切なことを考えさ せる。

ヘレンと共にーアニー・サリバンー

こんなに負けない心って

アニー・サリバン

生まれつき視力が弱く、一時は失明。
三度の手術→視力を取り戻す。
目が見えるありがたさ　すばらしさ
目の不自由な人たちのために役立ちたい　決意

ヘレンの家庭教師を引き受けたアニー

- ・目の不自由な人の役に立ちたい。
- ・ヘレンを助きたい。
- ・今までお世話になった校長先生たちに恩返しをしたい。
- ・わたしにできるか不安。
- ・大丈夫かな。

周りの人から「きびしすぎる。」と言われたとき

- ・ヘレンのためにがんばろう。
- ・一度決めたことは最後までやりとげよう。
- ・このやり方でいいのだろうか。
- ・もうやめてしまおう。

場面絵①

ヘレンが「WATER」の意味が分かったとき

【達成感】

- ・あきらめずに指導してきてよかった。
- ・きびしすぎると言われても続けた。

【ヘレンに対して】

- ・嬉しかった。
- ・ヘレンもがんばった。
- ・物に名前があることを分かってくれた。

場面絵②

【これからの目標】

- ・これからも努力していこう。
- ・これからもっと一緒に色んなことを学んでいきたい。

【仕事に対する思い】

- ・やっと役に立てた。
- ・自分のやりたいことができた。

こんなに負けない心

- ・強い意志をもって前向きに努力する。
- ・乗り越えたら達成感がある。
- ・自分はやればできる。
- ・あきらめないで続ける。
- ・できるまであきらめないで続ける。
- ・人に言われるのではなく自分で決める。

9 板書計画

10 成果（○）と課題（▲）

○教材文をあらかじめ読んでおくことで、児童は内容を把握した上で授業に参加することができた。

○役割演技を行うことで、児童の体験をもとに、教材には書かれていない心情を言葉にすることができた。また、役割演技を見ている児童が意見を交流する場面を設定することで、主人公の強い意志に気付くことができた。

○ペアトークを行うことで、自分とは違う意見や友達の体験から考えた意見をしっかり聞くことができた。



▲教材の主人公の生き方から学んだことを自分事として捉える時間をとる必要がある。

▲ねらいに対する本時のまとめを全員で共有する時間をとる必要があった。導入で、問いかけたことをもとに、児童の体験を踏まえて考えさせていく。

▲説話で取りあげた大谷選手については、視野を広げるために有効であったが、教師が伝えるだけではなく、クイズ形式にするなど、提示方法を工夫することで、児童が自分たちの言葉で考える授業展開になる。児童の言葉で「努力」について考えさせる方が自分とつながることができる。

